



2016年3月期 第3四半期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2016年2月4日



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



## 2016年3月期 第3四半期累計 実績

- 引き続き好調な北米市場がけん引役となり、連結販売台数は第3四半期累計期間として過去最高を記録
- 販売台数の拡大、為替レート差、原価低減の進捗などにより各種費用の増加を打ち消し、第3四半期累計期間として過去最高の売上高、各利益を記録

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	2兆4,186億円 (+3,579億円)	4,357億円 (+1,256億円)	4,340億円 (+1,456億円)	3,378億円 (+1,474億円)	712.2千台 (+48.5千台)

## 2016年3月期 計画

- 売上高、各利益、連結販売台数において4年連続での過去最高業績を計画

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆2,100億円 (+3,321億円)	5,500億円 (+1,270億円)	5,470億円 (+1,534億円)	4,140億円 (+1,521億円)	954.8千台 (+44.1千台)



## 2016年3月期 第3四半期累計 実績

## 第3四半期累計 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 3Q累計 実績	増減
登録車	83.5	75.9	▲7.6
軽自動車	22.3	24.0	+1.6
<b>国内合計</b>	<b>105.9</b>	<b>99.9</b>	<b>▲6.0</b>
米国	398.7	446.3	+47.6
カナダ	32.0	36.7	+4.7
ロシア	10.8	4.8	▲6.1
欧州	22.9	28.6	+5.7
豪州	28.2	32.9	+4.7
中国	40.7	30.1	▲10.6
その他	24.5	32.9	+8.4
<b>海外合計</b>	<b>557.8</b>	<b>612.3</b>	<b>+54.5</b>
<b>合計</b>	<b>663.7</b>	<b>712.2</b>	<b>+48.5</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1~9月

3

2016年3月期 第3四半期累計の連結販売台数は、第3四半期累計期間として過去最高となる、71万2千2百台となり、前年同期比で4万8千5百台の増加となりました。

国内では、軽自動車は前年同期比で1千6百台の増加となる2万4千台となりましたが、登録車が前年同期比で7千6百台の減少となる7万5千9百台となり、国内合計では前年同期比で6千台の減少となる、9万9千9百台となりました。

海外では、重点市場である北米市場を中心に、レガシィ、アウトバック、XVクロストレックの販売が引き続き好調に推移し、前年同期比で5万4千5百台の増加となる61万2千3百台となりました。

## 第3四半期累計 連結業績



(億円)

	2015年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	20,607	24,186	+3,579
国内	4,419	4,282	▲137
海外	16,189	19,904	+3,716
営業利益	3,102	4,357	+1,256
営業外損益	▲218	▲18	+200
経常利益	2,884	4,340	+1,456
特別損益	▲17	465	+482
税前利益	2,867	4,805	+1,938
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,904	3,378	+1,474
単独為替レート	¥105/US\$	¥122/US\$	+¥16/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

4

次に、連結業績です。

売上高、各利益ともに、第3四半期累計期間として、過去最高を記録しました。

売上高は、為替レート差による +2,010億円に加え、海外での売上台数拡大による売上構成差の改善+1,518億円、カンパニー等での売上増加+51億円により、前年同期比 3,579億円の増収となる 2兆4,186億円となりました。

営業利益につきましては、販売台数増加等による売上構成差の改善や、為替レート差、原価低減の進捗が諸経費や試験研究費の増加を打ち消し、前年同期比 1,256億円の増益となる 4,357億円となりました。

経常利益は1,456億円の増益で、4,340億円、

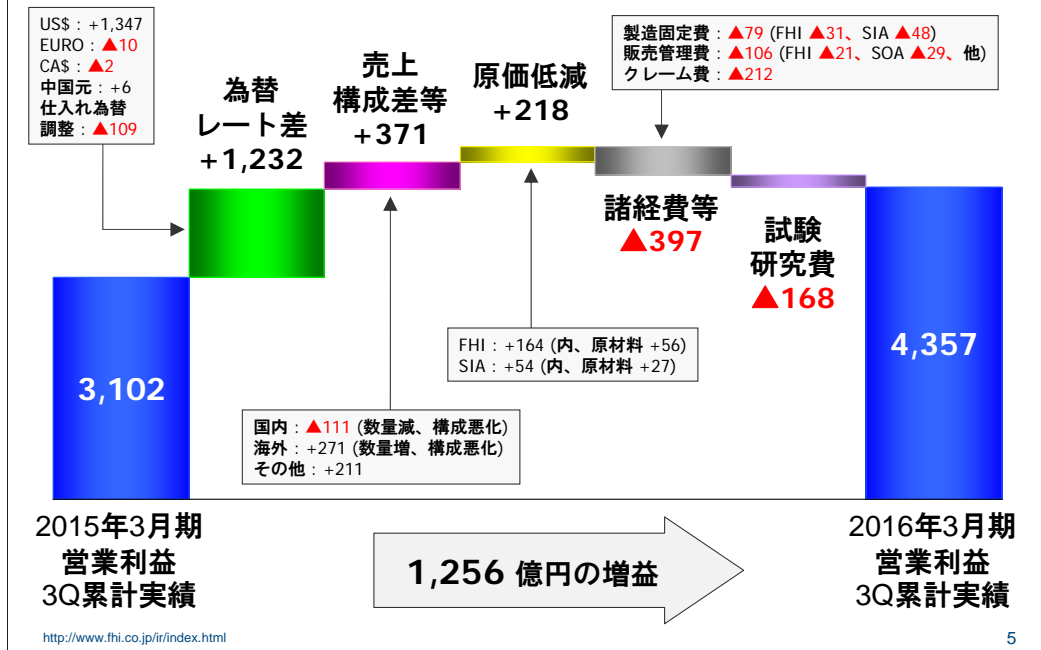
税前利益は、防衛省向けヘリコプター「AH64D」に関する訴訟の判決確定を受け、貸倒引当金の戻入や遅延損害金などによる特別利益を計上したことなどにより、前年同期比で1,938億円の増益となる4,805億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比で 1,474億円の増益となる、3,378億円となりました。

## 第3四半期累計 営業利益増減要因



(億円)



5

続きまして、前期実績3,102億円から今期実績4,357億円へと、1,256億円の増益となった営業利益の増減要因についてです。

増益要因は、

<1>為替レート差で+1,232億円です。ドルは約16円の円安で+1,347億円です。ユーロは約5円の円高で-10億円、カナダドルは若干の円高で-2億円、中国元は+6億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-109億円となりました。

<2>売上構成差等で+371億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は-111億円です。

レガシィ、インプレッサ、クロスオーバー7などの販売は好調に推移したものの、発売から1年が経過したレヴォーグの落ち込みが大きく、売上台数は減少となりました。

②新車海外は+271億円です。

好調な販売が続く北米市場を中心に、レガシィ、アウトバック、インプレッサ、WRXなどが台数を伸ばしました。

③在庫調整等、その他で+211億円です。

<3>原価低減で+218億円です。そのうち、富士重工が+164億円、SIAは+54億円です。

富士重工では原価低減が+108億円、原材料・市況等については+56億円となりました。

SIAでは原価低減が+27億円、原材料等が+27億円となりました。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増加で-397億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の増加により-79億円です。そのうち、富士重工が-31億円、SIAは-48億円です。

富士重工では、外製型費の増により-52億円、固定加工費の減で+21億円です。

SIAでは、外製型費の増により-12億円、固定加工費の増により-36億円となりました。

②販売管理費の増加で-106億円です。

富士重工 -21億円、国内ディーラー -8億円、SOA -29億円、カナダ子会社 -24億円、

その他で -24億円となりました。

SOAにつきましては、広告宣伝費等が+27億円、インセンティブが-56億円となりました。

台当たりのインセンティブは、当年度は\$900、前年度は\$850と\$50の増加となりました。

③クレーム費の増で -212億円です。

<5>試験研究費の増加で-168億円です。

以上で、2016年3月期 第3四半期累計の連結営業利益は、1,256億円の増益となる、4,357億円となりました。

## 連結貸借対照表



(億円)

	2015年3月末	2015年12月末	増減
総資産	21,997	24,294	+2,297
流動資産	14,733	16,354	+1,621
固定資産	7,264	7,940	+676
有利子負債	2,112	1,865	▲247
純資産合計	10,307	12,817	+2,510
利益剰余金	6,974	9,502	+2,527
自己資本	10,224	12,743	+2,519
自己資本比率	46.5%	52.5%	+6.0
D/Eレシオ	0.21	0.15	▲0.06

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

続きまして、バランスシートです。

総資産につきましては、

2015年3月末から、2,297億円の増加となる、2兆4,294億円となりました。  
 主な要因は、現金及び預金の増加および有形固定資産の増加などです。

有利子負債は247億円の減少となる 1,865億円、  
 純資産は2,510億円の増加となる 1兆2,817億円、  
 自己資本比率は52.5%、D/Eレシオは0.15となりました。

## 第3四半期累計 連結キャッシュフロー



(億円)

	2015年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 3Q累計 実績	増減
営業活動CF	1,773	4,343	+2,570
投資活動CF	▲1,165	▲1,808	▲643
フリーCF	608	2,535	+1,927
財務活動CF	▲935	▲1,102	▲167
換算差額	273	▲13	▲286
手元資金増減	▲54	1,420	+1,474
手元資金合計	5,524	7,539	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

次に、連結キャッシュフローです。

営業活動によるキャッシュフローは、  
1,317億円の法人税等の支払いはありましたが、  
先述のAH-64D訴訟に関する特別利益を含む税前利益4,805億円の計上などにより、4,343億円の  
キャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、  
生産能力増強などに伴う投資活動があったことから、  
1,808億円のキャッシュアウトとなりました。

フリーキャッシュフローは 2,535億円です。

財務活動によるキャッシュフローは、  
借入金の返済や、配当の支払いなどにより  
1,102億円のキャッシュアウトとなりました。



## 第3四半期累計 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2015年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	10,115	11,589	+1,474
営業利益	417	657	+240
当期純利益	259	404	+145
小売販売台数(千台)	399.9	449.9	+50.0

SIA	2015年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	3,424	3,967	+543
営業利益	121	135	+14
当期純利益	81	87	+6
スバル生産台数(千台)	149.2	171.3	+22.1

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売台数は、昨夏に導入したレガシィ、アウトバックが引き続き好調な上、インプレッサ、XVクロストレック、フォレスター、WRXも販売を伸ばし、対前年5万台増の44万9千9百台となりました。

売上高についても、\$1,474Mの増収となる\$11,589Mとなりました。

営業利益につきましては、数量・構成差+\$267M、販管費の増▲\$27Mにより、\$240Mの増益となる\$657Mとなりました。

SIAの売上高は、\$543Mの増収となる、\$3,967Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差+\$10M、原価低減活動+\$50M、固定費増▲\$46Mにより、対前年+\$14Mとなる、\$135Mとなりました。



## 2016年3月期 見通し

## 通期 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
登録車	127.9	109.8	▲18.1
軽自動車	34.9	33.5	▲1.4
<b>国内合計</b>	<b>162.8</b>	<b>143.3</b>	<b>▲19.4</b>
米国	527.6	583.0	+55.3
カナダ	42.4	47.1	+4.7
ロシア	11.6	6.1	▲5.5
欧州	35.7	41.3	+5.6
豪州	38.9	44.5	+5.6
中国	53.8	44.4	▲9.4
その他	37.9	45.1	+7.3
<b>海外合計</b>	<b>747.9</b>	<b>811.5</b>	<b>+63.6</b>
<b>合計</b>	<b>910.7</b>	<b>954.8</b>	<b>+44.1</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 10

2016年3月期 通期の連結販売台数は、  
95万4千8百台と、4年連続での過去最高販売台数の更新を目指します。

国内では、新型効果の薄れた登録車の落ち込みが大きく、  
前年同期比1万9千4百台の減となる、14万3千3百台を計画します。

海外では、  
好調な販売が続く米国市場がけん引役となり、  
6万3千6百台の増となる、81万1千5百台を計画します。

## 通期 連結業績



(億円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
売上高	28,779	32,100	+3,321
国内	6,529	5,962	▲567
海外	22,250	26,138	+3,888
営業利益	4,230	5,500	+1,270
経常利益	3,936	5,470	+1,534
税前利益	3,922	5,870	+1,948
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,619	4,140	+1,521
単独為替レート	¥108/US\$	¥120/US\$	+¥12/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

11

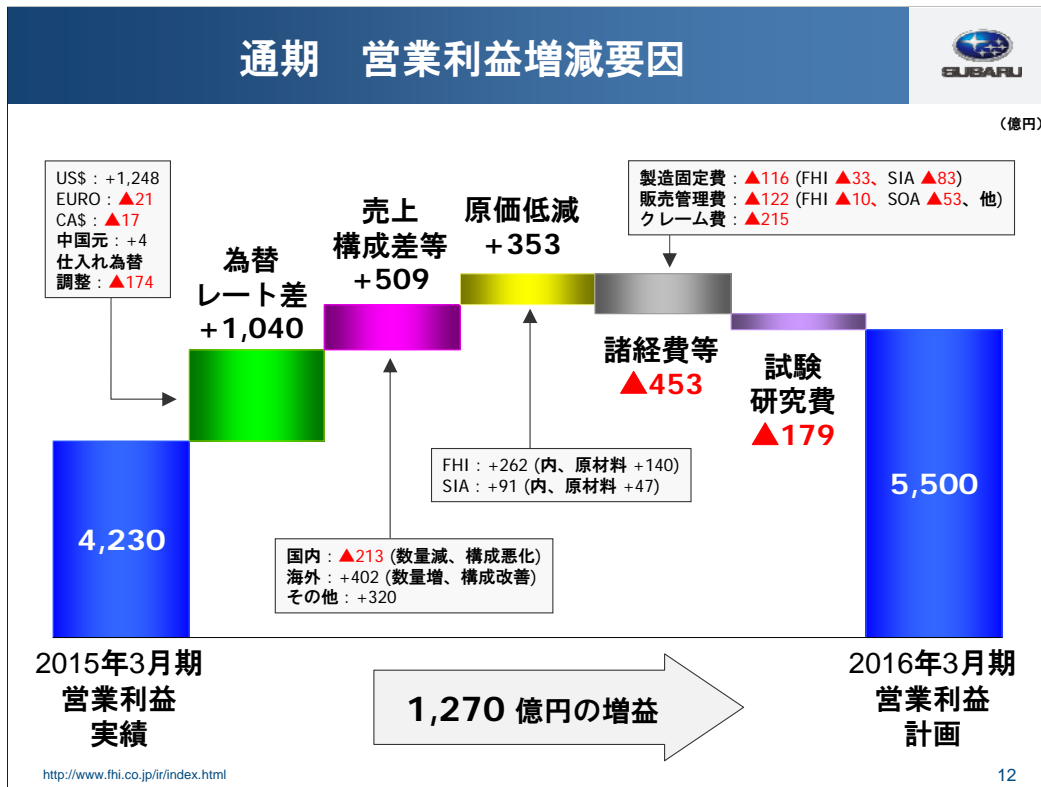
次に、連結業績計画です。

第3四半期に発生したりコール関連費用の追加を、売上構成差の改善、販売費の抑制、原価低減の進捗などで打ち消し、通期連結業績見通しは、昨年12月24日の発表値から変更はありません。

売上高は、為替レート差+1,749億円、販売台数増加による売上構成差の改善+1,521億円、カンパニー等での売上増加+51億円により、前年同期比3,321億円の増収となる、3兆2,100億円を計画します。

営業利益につきましては、為替レート差、売上構成差の改善、原価低減の進捗により、諸経費、試験研究費の増加を打ち消し、1,270億円の増益となる、5,500億円を見込みます。

経常利益は1,534億円の増益で5,470億円、税前利益は1,948億円の増益となる5,870億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,521億円の増益となる4,140億円の計画で、売上高、すべての利益段階で、4年連続での過去最高業績を目指しております。



前期実績4,230億円から今期計画5,500億円へと、1,270億円の増益となる、営業利益増減要因についてです。増益要因は、

<1>為替レート差で+1,040億円です。ドルは約12円の円安で+1,248億円です。ユーロは約7円の円高で-21億円、カナダドルは約3円の円高で-17億円です。中国元で+4億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-174億円です。4Qレートは、ドル115円、ユーロ126円、カナダドル88円、下期レートはドル118円、ユーロ130円、カナダドル90円です。

<2>売上構成差等で+509億円です。内訳は3つに分かれます。  
 ①新車国内は-213億円です。  
 ②新車海外は+402億円です。  
 ③在庫調整等その他で+320億円です。

<3>原価低減で+353億円です。そのうち、富士重工が+262億円、SIAは+91億円です。富士重工では、原価低減が+122億円、原材料・市況等については+140億円を見込みます。SIAでは原価低減が+44億円、原材料等は+47億円を計画しています。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-453億円です。内訳は3つに分かれます。  
 ①製造固定費の増加により-116億円です。そのうち、富士重工が-33億円、SIAは-83億円です。富士重工では、外製型費の増により-53億円、固定加工費の減により+20億円です。SIAでは、外製型費の増により-14億円、固定加工費も増加を見込み-69億円です。  
 ②販売管理費の増加で-122億円です。富士重工は-10億円、国内ディーラーは-4億円、SOAは-53億円、カナダ子会社は-30億円、その他で-25億円です。SOAにつきましては、広告宣伝費等が+4億円、インセンティブは、当年度は台あたり\$900と、前年度\$900と同水準ですが、台数が増加していることから-57億円となる計画です。  
 ③クレーム費の増で-215億円です。

<5>試験研究費の増加で-179億円です。

以上で、2016年3月期の通期営業利益は、1,270億円の増益となる、5,500億円を計画しています。

## 通期 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
売上高	13,393	15,202	+1,809
営業利益	490	776	+286
当期純利益	309	477	+168
小売販売台数(千台)	530.5	585.4	+54.9

SIA	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
売上高	4,770	5,467	+697
営業利益	108	198	+90
当期純利益	70	124	+54
スバル生産台数(千台)	206.7	235.9	+29.2

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

13

SOAの通期小売販売は、昨夏に導入した新型レガシィ、アウトバック、またインプレッサ、XVクロスレック、フォレスター、WRXの販売好調により、対前年5万4千9百台増の58万5千4百台を目指します。

売上高は対前年+\$1,809Mの\$15,202Mを見込みます。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$334M、販管費の増▲\$48Mにより、対前年+\$286Mの\$776Mを計画します。

SIAの売上高は、前年に対し+\$697Mの\$5,467Mを見込みます。

営業損益は、数量価格構成差+\$90M、原価低減活動+\$76M、固定費増▲\$76Mにより、対前年+\$90Mとなる\$198Mを見込みます。

## 設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2015年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 通期 実績 (a)	2016年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 通期 計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	828	1,107	830	1,300	+193
減価償却費	445	648	473	670	+22
試験研究費	549	835	717	1,015	+180
有利子負債	2,268	2,112	1,865	1,800	▲312

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

最後に、設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債についてです。

試験研究費につきましては、  
前回計画より25億円増の1,015億円を計画します。

その他、設備投資、減価償却費、有利子負債につきましては  
前回計画からの変更はありません。

次ページ以降は、セグメント情報や、各種指標、前回計画と今回計画の差など、  
ご参考となります。

以上で2016年3月期 第3四半期決算の説明を終わります。

ありがとうございました。

## ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数



## 第3四半期累計 連結営業外収支／特別損益



(億円)

	2015年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 3Q累計 実績	増減
金融収支	8	19	▲11
為替影響	▲230	▲14	+215
その他	4	▲22	▲26
<b>営業外収支</b>	<b>▲218</b>	<b>▲18</b>	<b>+200</b>
固定資産売却益	6	1	▲5
投資有価証券売却益	9	2	▲7
貸倒引当金戻入額	-	296	+296
国庫補助金	-	30	+30
固定資産除売却損	▲28	▲31	▲3
固定資産圧縮損	-	▲17	▲17
その他	▲5	182	+187
<b>特別損益合計</b>	<b>▲17</b>	<b>465</b>	<b>+482</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

16

## 第3四半期累計 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2015年 3月期 3Q累計 実績	2016年 3月期 3Q累計 実績	増減	2015年 3月期 3Q累計 実績	2016年 3月期 3Q累計 実績	増減
自動車	19,370	22,772	+3,402	2,973	4,203	+1,230
航空宇宙	980	1,102	+123	106	122	+15
産業機器	203	254	+51	1	6	+5
その他	55	59	+3	17	21	+5
消去・全社				5	5	+0
合計	20,607	24,186	+3,579	3,102	4,357	+1,256

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

17

## 第3四半期累計 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2015年 3月期 3Q累計 実績	2016年 3月期 3Q累計 実績	増減	2015年 3月期 3Q累計 実績	2016年 3月期 3Q累計 実績	増減
日本	6,662	6,854	+192	2,431	3,314	+883
北米	11,955	15,370	+3,415	773	1,009	+236
その他	1,990	1,962	▲28	115	8	▲108
消去・全社				▲218	27	+244
合計	20,607	24,186	+3,579	3,102	4,357	+1,256

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

18

## 第3四半期累計 連結海外売上高



(億円)

	2015年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 3Q累計 実績	増減
北米	12,688	16,221	+3,533
欧州	856	895	+39
アジア	1,675	1,616	▲58
その他	970	1,172	+202
合計	16,189	19,904	+3,716

## 第3四半期累計 単独販売台数



(千台)

	2015年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 3Q累計 実績	増減
国内生産	528.2	530.2	+2.1
国内売上	115.3	108.4	▲6.9
登録車	91.0	82.2	▲8.8
軽自動車	24.3	26.2	+1.9
輸出台数	414.0	435.3	+21.3
海外生産用部品	164.3	176.3	+12.0
単独売上合計	693.7	720.0	+26.4

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20

## ご参考 (2)

- ・ 第3四半期(3か月) 連結業績
- ・ 第4四半期(3か月) 連結業績計画
- ・ 通期 連結業績計画 前回計画と今回計画との差

## 第3四半期(3か月) 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 3Q 実績	2016年3月期 3Q 実績	増減
登録車	27.1	26.1	▲1.0
軽自動車	7.3	7.3	+0.0
<b>国内合計</b>	<b>34.3</b>	<b>33.4</b>	<b>▲0.9</b>
米国	148.8	155.7	+6.9
カナダ	9.9	10.6	+0.7
ロシア	2.2	1.3	▲0.9
欧州	7.3	9.0	+1.7
豪州	8.9	9.9	+1.0
中国	12.0	9.6	▲2.4
その他	8.6	10.4	+1.8
<b>海外合計</b>	<b>197.7</b>	<b>206.6</b>	<b>+8.9</b>
<b>合計</b>	<b>232.1</b>	<b>240.0</b>	<b>+8.0</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算7～9月 22

## 第3四半期 (3か月) 連結業績



(億円)

	2015年3月期 3Q 実績	2016年3月期 3Q 実績	増減
売上高	7,505	8,172	+667
国内	1,491	1,430	▲61
海外	6,014	6,742	+728
営業利益	1,245	1,506	+262
経常利益	1,124	1,490	+365
税前利益	1,120	1,974	+854
親会社株主に帰属する 当期純利益	773	1,446	+673
単独為替レート	¥110/US\$	¥121/US\$	+¥11/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

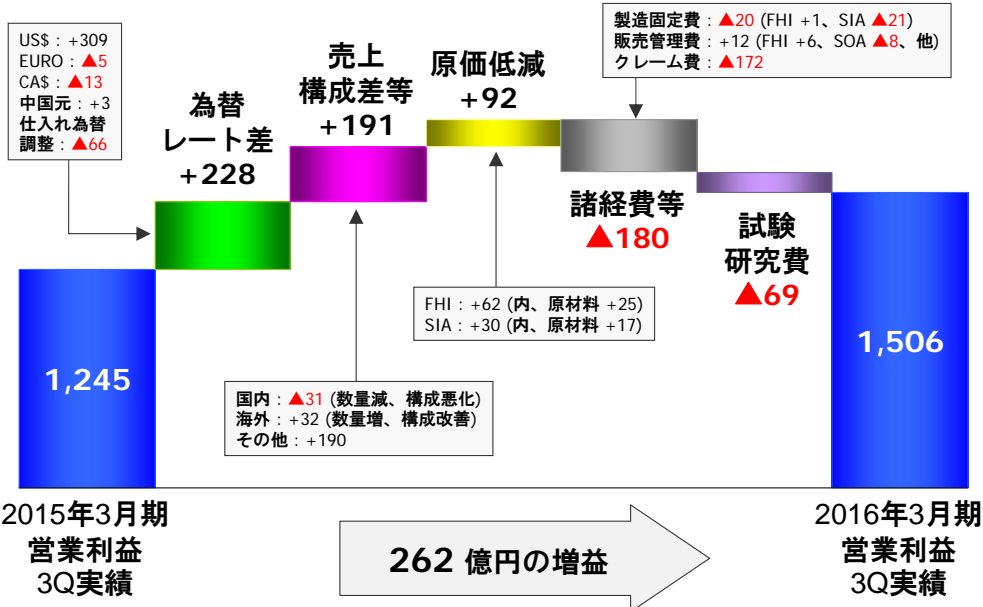
23



# 第3四半期 (3か月) 営業利益増減要因



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

24

## 第4四半期（3か月） 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 4Q 実績	2016年3月期 4Q 計画	増減
登録車	44.4	33.9	▲10.5
軽自動車	12.5	9.5	▲3.0
<b>国内合計</b>	<b>56.9</b>	<b>43.4</b>	<b>▲13.5</b>
米国	128.9	136.7	+7.7
カナダ	10.5	10.4	▲0.1
ロシア	0.7	1.3	+0.6
欧州	12.8	12.7	▲0.1
豪州	10.7	11.6	+0.9
中国	13.1	14.3	+1.2
その他	13.4	12.2	▲1.1
<b>海外合計</b>	<b>190.1</b>	<b>199.2</b>	<b>+9.1</b>
<b>合計</b>	<b>247.0</b>	<b>242.6</b>	<b>▲4.4</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算10～12月 25

## 第4四半期 (3か月) 連結業績



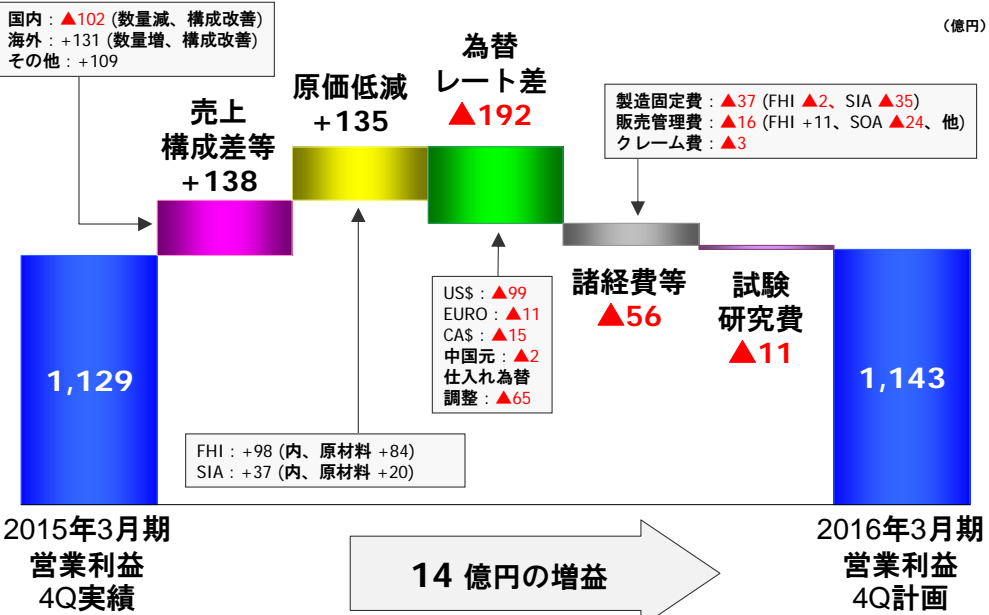
(億円)

	2015年3月期 4Q 実績	2016年3月期 4Q 計画	増減
売上高	8,172	7,914	▲258
国内	2,110	1,680	▲431
海外	6,062	6,234	+172
営業利益	1,129	1,143	+14
経常利益	1,053	1,130	+77
税前利益	1,055	1,065	+10
親会社株主に帰属する 当期純利益	715	762	+47
単独為替レート	¥118/US\$	¥115/US\$	▲¥3/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

26

# 第4四半期（3か月） 営業利益増減要因



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

前回計画（2Q発表値）対比  
通期 連結完成車販売台数



(千台)

	2016年3月期 前回計画	2016年3月期 今回計画	増減
登録車	107.7	109.8	+2.1
軽自動車	34.4	33.5	▲0.9
<b>国内合計</b>	<b>142.1</b>	<b>143.3</b>	<b>+1.2</b>
米国	577.6	583.0	+5.4
カナダ	46.5	47.1	+0.6
ロシア	9.0	6.1	▲2.9
欧州	42.2	41.3	▲0.8
豪州	44.1	44.5	+0.4
中国	46.5	44.4	▲2.1
その他	45.0	45.1	+0.1
<b>海外合計</b>	<b>810.9</b>	<b>811.5</b>	<b>+0.6</b>
<b>合計</b>	<b>953.0</b>	<b>954.8</b>	<b>+1.8</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 28

前回計画（2015年12月24日発表値）対比  
**通期 連結業績**



(億円)

	2016年3月期 前回計画	2016年3月期 今回計画	増減
売上高	32,100	32,100	±0
国内	5,721	5,962	+240
海外	26,379	26,138	▲240
営業利益	5,500	5,500	±0
経常利益	5,470	5,470	±0
税前利益	5,870	5,870	±0
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,140	4,140	±0
単独為替レート	¥120/US\$	¥120/US\$	±¥0/US\$

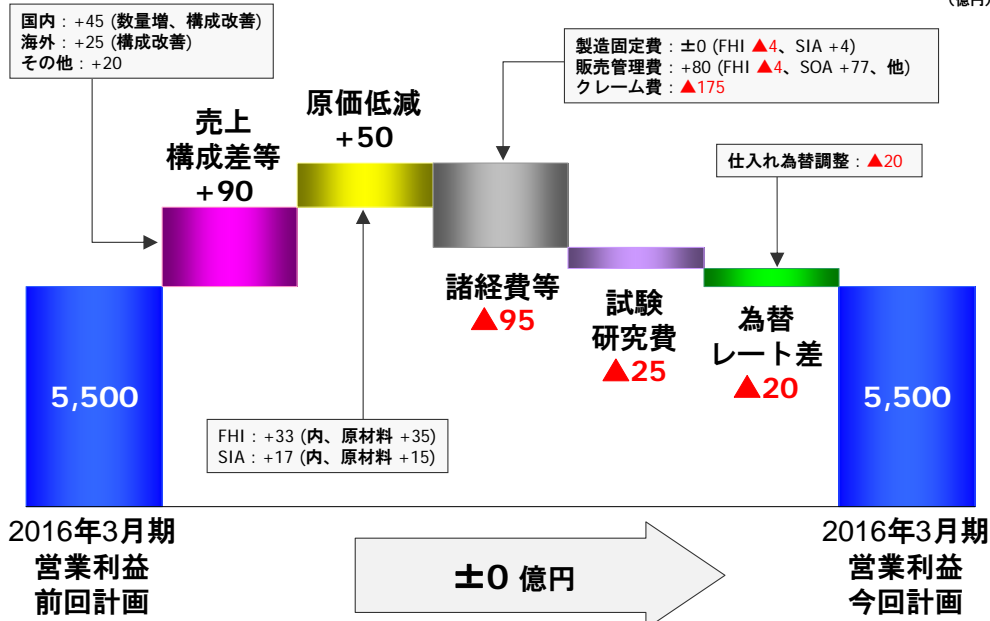
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

29

前回計画（2015年12月24日発表値）対比  
**通期 営業利益増減要因**



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

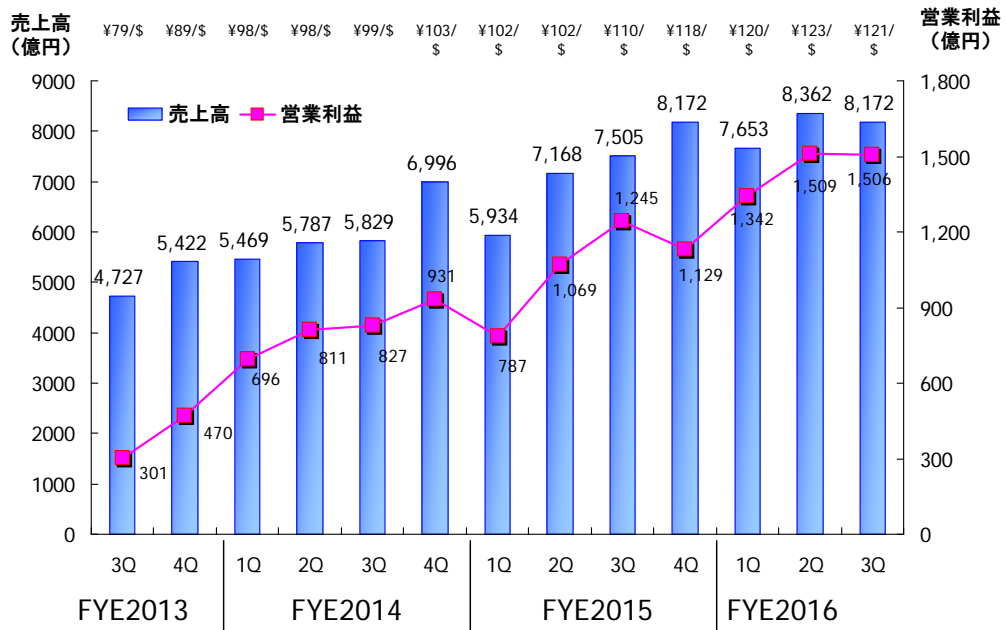
30

### ご参考 (3)

- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件

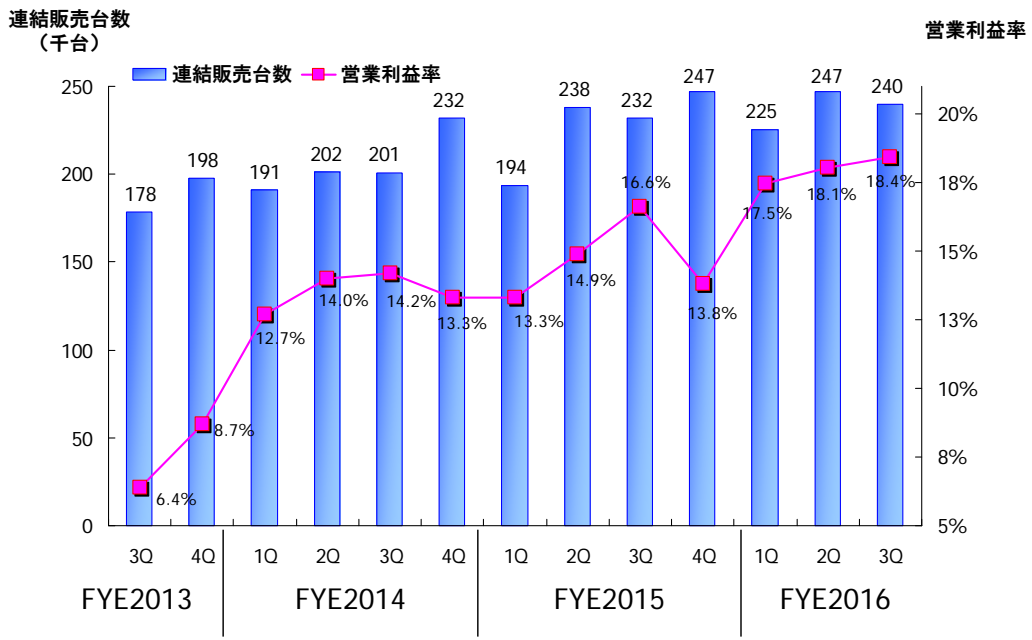


# 売上高 / 営業利益 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

# 連結販売台数 / 営業利益率 推移

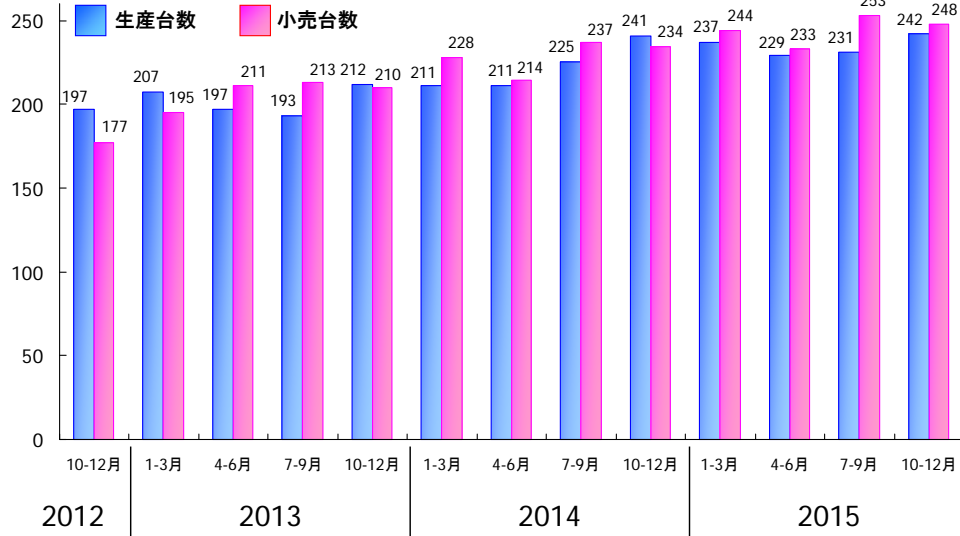


<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

# 生産台数 / 小売台数 推移



(千台)

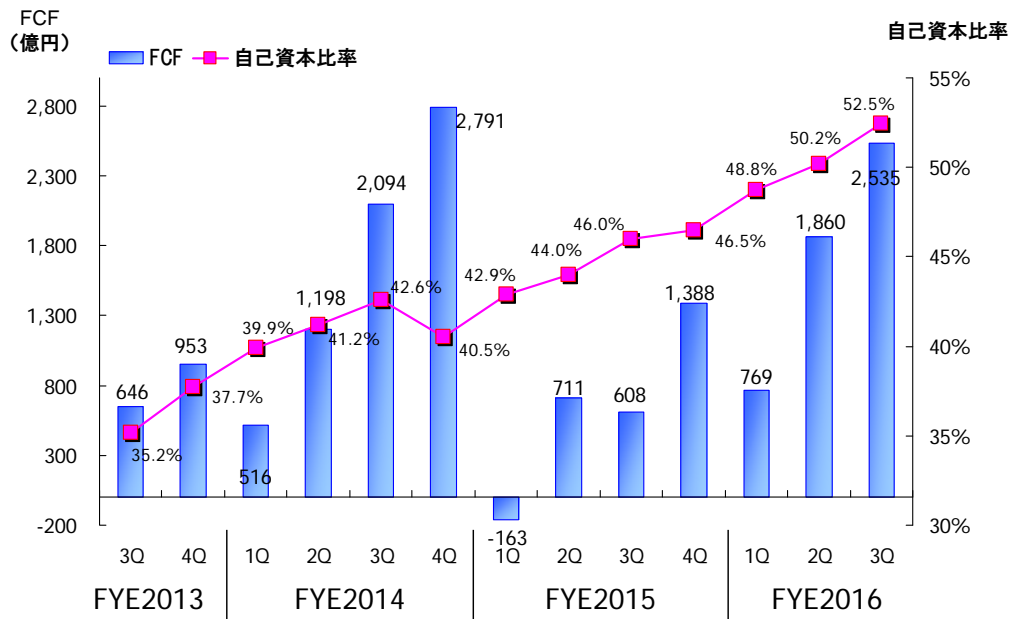


※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

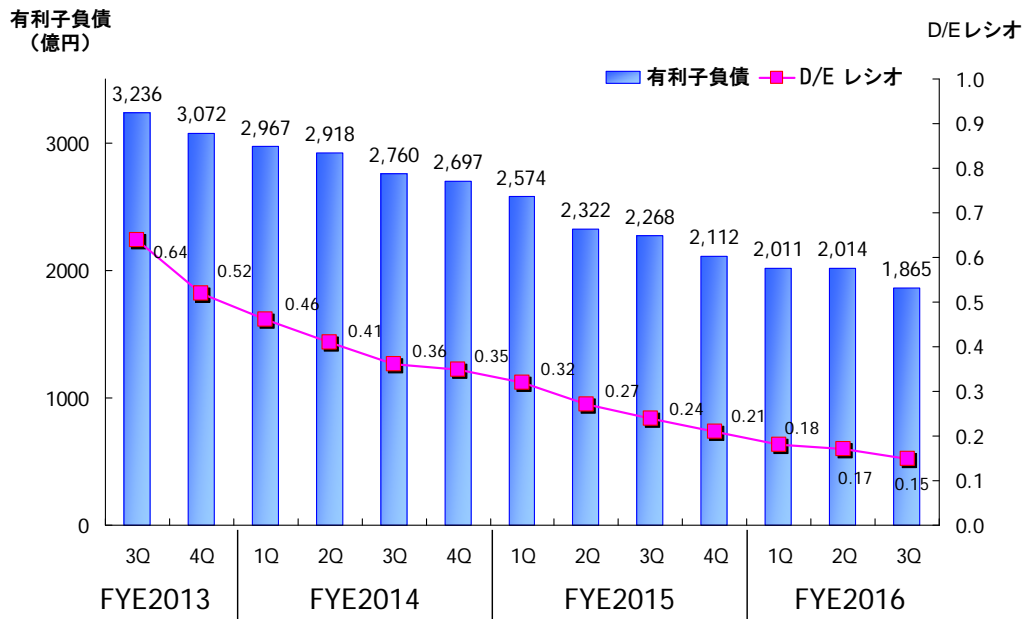
34

# FCF / 自己資本比率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

# 有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

## 第3四半期 主な広報発表案件



(発表日)

### 商品関係

- インプレッサ SPORT/G4を改良 ～1.6Lモデルにアイサイト (ver.3) を設定～ (10/6)
- 「IMPREZA 5-DOOR CONCEPT」を東京モーターショー2015で世界初公開 (10/28)
- SUBARU XV/SUBARU XV HYBRID 大幅改良モデルを発売 (10/28)
- フォレスター 大幅改良モデルを発売 (10/28)
- 「IMPREZA SEDAN CONCEPT」を2015年LAオートショーで世界初公開 (11/19)

### 受賞関係

- 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業 (平成27年度) に選定 (10/7)
- 運転支援システム「アイサイト」が2015年度グッドデザイン金賞を受賞  
～自動ブレーキをはじめとする運転支援システムとして初の受賞～ (10/30)
- 米国IIHSの2016年安全評価で「トップセイフティピック (TSP) +」を6車種が獲得 (12/10)
- WRX搭載水平対向直噴ターボ "DIT" エンジンが 米国ワーズ社の「10ベストエンジン」賞を  
2年連続受賞 (12/14)
- 「アイサイト」を搭載するインプレッサ/SUBARU XVが 2015年度予防安全性能アセスメント  
で最高ランクのJNCAP「先進安全車プラス (ASV+)」を獲得 (12/17)

### その他

- 産業機器カンパニー埼玉製作所 開設20周年を迎えて (10/15)
- 「コーポレートガバナンスガイドライン」の制定について (11/5)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

37



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみにも全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



**SUBARU**

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>